



# 今日から、自ら! 実践できるSDGsアクション

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



このような認証ラベルが付いた商品が希望する人が増えれば、こうした商品が販売する小売店も増えるはず。今、消費者である私たちの選択が問われています。この他にも、「マイバッグを使う」「脱プラスチック製品を選ぶ」「リサイクル品を活用する」など、日々の買い物に取り入れられることはたくさんあります。ぜひ今日から、そして自ら、SDGsアクションを始めてみませんか。

私たちが社会や環境に配慮した商品を選ぶことは、こうした取り組みを推進する企業を応援することになり、生産の在り方にも変化をもたらします。エシカル消費は、SDGsの目標12に掲げられている「つくる責任、つかう責任」の実践になるのももちろん、ひいては目標1の貧困問題や、目標14・15のような環境問題の解決にもつながります。

エシカル消費のポイントは、価格や品質だけでなく、その製品がつけられた環境や方法などの生産過程や流通経路などにも目を向けること。私たちが普段購入している商品は、多くが開発途上国で生産され、その背景には安価な賃金での労働や児童労働、環境破壊などの問題が潜んでいることがあります。そんな中、開発途上国の原料や製品を適正な価格で購入する「フェアトレード」商品や、環境にやさしい「オーガニック」な製品を選ぶ、住んでいる地域の商品を買う「地産地消」を心がけるなども、エシカル消費の1つです。

● 認証ラベルの一例

国際フェアトレード認証  
取引の適正価格を保証し、人権や環境に配慮した基準を満たす製品

MSC  
「海のエコラベル」  
海洋環境や水産資源に配慮した、持続可能な漁業による天然水産物の認証

GOTS認証  
全工程で環境と社会に配慮して作られたオーガニックテキスタイル製品

FSC®認証  
適切に管理された森林からの木材・木材製品

エコマーク  
環境負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品

レインフォレスト・アライアンス認証  
環境や動植物に配慮された、より持続可能な農法で生産された認証農産物の製品

「買い物」という行為で未来を変える

商品を買う、食べる、使うといった「消費」は、私たちの生活に欠かせない行動の1つ。そこで今、私たちが毎日行う消費の仕方を変えることでSDGsに貢献できる方法として、「エシカル消費」という言葉が注目を集めています。

「エシカル」とは、英語で「倫理的な」という意味。つまりエシカル消費は、多くの人が正しいと感じる社会的規範を基準に、人や社会、地球環境などに配慮したものをを選ぶ消費行動を指します。

す。自分の買い物で世界を変える。そんな意識を持つことが、SDGsの第一歩です。

サステイナブルな認証ラベルを目印に

社会や環境に配慮した商品を見極める際に、1つの基準になるのが、第三者機関によって一定の基準を満たすと認定されていることを示す「認証ラベル」です。近年、世界ではエシカル消費を促すために、さまざまな認証制度が生まれています。

## SDGs特集 消費 × SDGs

### 第4回

世界規模で持続可能な社会の実現を目指すSDGs。その壮大さゆえに、行政や企業が取り組むものというイメージもあるかもしれませんが、実は私たち1人1人が日常でできる取り組みも数多くあります。今回は、日常生活でも実践できるアクションを紹介します。

### プロジェクト特設サイトオープン

最新事例を紹介

支援している企業の  
取り組み情報や活動事例の  
紹介はこちらから



取り組み企業、事例についてお寄せください。

SDGs岐阜推進プロジェクト事務局  
中日アド企画 岐阜支社内  
岐阜市柳ヶ瀬通1-12 岐阜中日ビル7階  
TEL.058-265-6281

OKB 大垣共立銀行

社会保険労務士  
加藤一正事務所

岐阜県JAグループ

岐阜信用金庫

下呂温泉観光協会

株式会社 三光堂

十六銀行

トヨタホーム岐阜株式会社

株式会社 マルエス産業

私たちは持続可能な開発目標SDGsを支援しています。

※50音順